

視点 (951)

メンズファッションとライフスタイル(その2)!!

(流通とSC・私の視点 950 より続く)

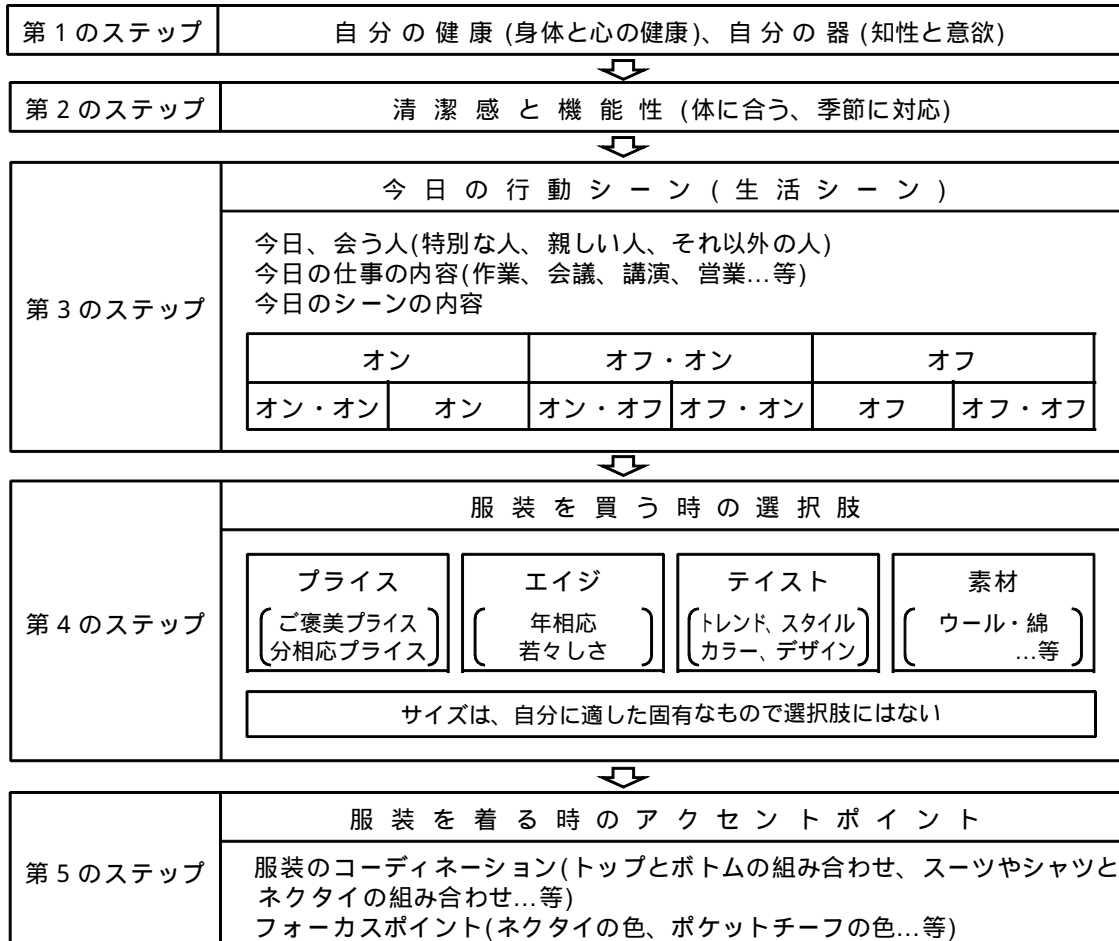
(2) ファッションの大衆化(汎用性化)と偉大なる媒介者の存在

エリート型の服装の原型の大衆化と庶民型の服装の原型の大衆化のためには、起源となった原型の服装(エリート型と庶民型の2つ)を、大衆のものとして認知させた「媒介となる偉大なる人(人々)」がどうしても必要となります。

この偉大なる媒介者なくしては、大衆のファッションとして認められません。人間は、「あこがれ」という概念を心を持っています。今の自分はそうでなくても、また、自分は決してそうはなれないと思っても、「カッコいい存在の人」、「自分もあなりたい人」をイメージとして持っています。ファッションの原型スタイルを大衆化する時、この「あこがれを創出する人物が偉大な媒介者」であり、映画俳優や貴族(イギリスのウィンザー公<1894~1972>のスタイルや、ミッチーブームとなった美智子皇太子妃<当時>のスタイル)、エリート学生(オックスフォード大学の学生のスタイルや、1950年代における太陽族の服装・遊びのスタイル)が相当します。我々、メンズファッションのシンボルである「ネクタイ」も、そもそもはスポーツや労働の汗ふき布から始まり、今や、男性の威厳とスタイルを象徴する存在になっています。これは、貴族の遊びやスポーツの汗ふき布から変化したものです。この場合も、偉大なる媒介者が何かの時に、かっこよく使用したことからファッション化し、大衆化したものです。

(3) 服装の着こなし方の要因とプロセス

私なりに服装の着こなし方の要因とプロセスをまとめてみました。



(株)ダイナミックマーケティング社^{*3}

代表 六車秀之